





2023.05 No.707

Osaka Association of Architects & Building Engineers Newsletter "Kenchiku-Jin"

表紙の建築 「ユニソン大阪事業所」2021年

第15回 建築人賞 建築人賞 受賞作品

設計:竹原義二/無有建築工房

施工:伊藤嘉材木店

撮影: 絹巻豐写真事務所、無有建築工房(表紙)

景観エクステリアメーカー『ユニソン』の大阪拠点を新築した。街に対する建築の関わり方を考え、主な取り扱いのセメント製品が魅力的に見えるよう、内外一体となる建築を目指した。建築と前庭・中庭・後庭の関係が見え隠れする様相は街の中に奥行を創り出す。

2 大阪ここちエエ

4 Gallery 建築作品紹介

「千里グリーンヒルズ竹見台 101号棟」

建築主: 独立行政法人 都市再生機構 西日本支社

設計:遠藤剛生建築設計事務所

施工:青木あすなろ建設

「蓮真居|

設計:木原千利設計工房施工:藤木工務店 倉敷支店

8 動静レポート

9 Topics

10 Information

12 News of Note

13 Close-up Osaka

14 記憶の建築

「国立劇場」1966年

生きられた建築の意味と価値を見つめて / 松隈洋

建築人 No.707 2023年5月号

監修 公益社団法人大阪府建築士会 建築情報部門

編集 建築情報部門『建築人』編集部

部門長: 荻窪伸彦

委員長:松下典央(編集人代表)

編集人:飯田英二 梅田武宏 笠井志保 河合哲夫

茂籠一之 大松俊祐 橋本頼幸 牧野隆義

三谷勝章 武藤優哉 若江直生

事務局: 隅原正太 母倉政美ロゴ・フォーマットデザイン 芝野健太

印刷 中和印刷紙器株式会社

令和5年5月1日発行

発行人:会長/岡本森廣

発行所:公益社団法人大阪府建築士会

〒540-0012 大阪市中央区谷町3-1-17 高田屋大手前ビル5F

tel. 06-6947-1961

大阪ここちエエ

写真 田籠哲也 文 牧野隆義

日本全国に数多くの桜並木通りが存在しているが、今回取り上げる「磯路桜通り」は他と違う取組が特徴だ。この磯路地域は大阪市港区中心部に位置し、磯路小学校の西側に南北800mに及ぶ桜並木が植えられており、さくら祭りも開かれている。

1963年に地域に住まう住人が、海抜が低い地域を造成した殺風景なまちに、新たな風景を望み「八重桜を植えたい」と行政に掛け合ったことが始まりだ。行政からは街路樹に適さないと何度も反対されたが、自らが維持管理するということで許可を受け植樹された。

住民の手で大切に育まれてきた桜並木は見事なもので、桜の開花の季節には多くの人々がこの地を訪れ楽しまれており、2011年には大阪市の都市景観資源にも登録されている。

桜の木の手入れは大変なもので、毎日の清掃や季節ごとの剪定、害虫駆除などを桜並木に面した住民の会「桂音会」のメンバーが担ってきた。しかしながら住民の高齢化が進み、維持管理が難しくなってきた。この素晴らしい取組を、大阪人の知恵を発揮して継続すべき景観や空間を残していただきたい。

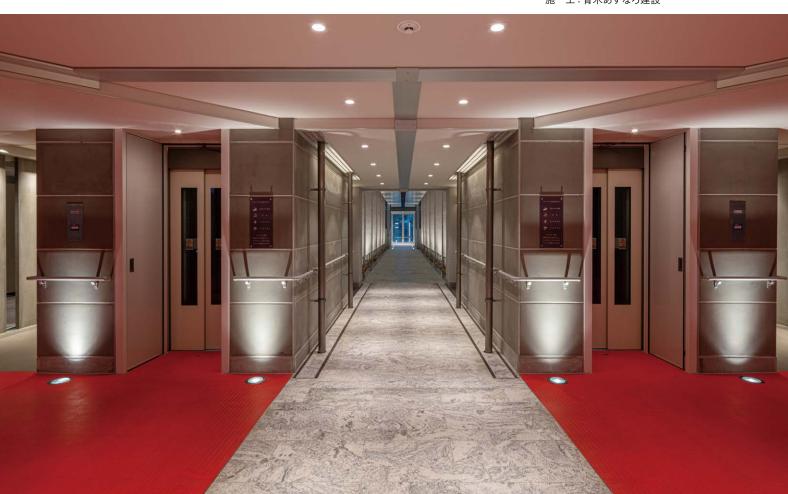
Gallery



千里グリーンヒルズ竹見台 101号棟

建築主: 独立行政法人 都市再生機構 西日本支社

設 計:遠藤剛生建築設計事務所 施 工:青木あすなろ建設







-千里ニュータウンの代表的景観の一つだった高層住宅の建替ーかつて私は竹見台小学校の設計を担当し、現場を訪れた事がある。 その時一帯は黄色い粘土が剥き出しの造成地だった。しかし今訪れると、旧千里丘陵の竹林や雑木林、変化に富んだ地形等がほぼ残り、スター、ボックス、中・高層板状住棟を地形の変化を読みながら適切に配置し、他に類を見ない森の中のような団地になっている。

本計画は南千里駅に向うゲートの位置に建てられた、3棟の スターハウス最初の建替計画である。かつて大阪万博のコンパニオン 宿舎だった南ウィングの中廊下型住棟を新計画ではツインコリドールに変え、生まれた中庭が本住棟空間の核になっている。 遠藤剛生

所 在 地:大阪府吹田市

用 途:共同住宅 竣 工:2020.09

構造規模:RC造

地上14階 敷地面積:11,913.30㎡ 建築面積:1,891.64㎡

延床面積: 15,976.80㎡

写 真:松村芳治

Gallery 蓮真居 設計: 木原千利設計工房 施工: 藤木工務店 倉敷支店









四季折々の気候の中から生まれ、磨かれてきた日本独特の住宅文化を自分の設計の中に一片隅でもよいから表現し、次の世代にその感性を受け継いでいけないか、と和と洋の混在する建物を一貫して創ってきた。そんなご縁で、この住宅は和を中心として洋の様式を取り入れる、いわば数奇屋風の中に洋の生活を一体化させることとなった。随所に季を愛でる庭が身近にあり、和の空間を味わいながら、使い勝手もよく、変化を楽しめる、そして品(格)のある事に配慮した住宅である。近年、このような住宅依頼は少なくなり、失われつつある日本家屋の様式の細かい収まりや技術、材木や材質の見極め等、気になっていることをこの住宅に残すことができたのが大きな喜びです。 (木原千利)

所 在 地:岡山県岡山市 用 途:専用住宅

遊· 等用性毛 竣 工: 2020.01

構造規模:木造 地上2階建

敷地面積:9,770.1㎡ 建築面積:263.87㎡ 延床面積:328.04㎡ 写 真:松村芳治



審查委員長 磯 達雄

1963年 埼玉県生まれ

88年 名古屋大学工学部建築学科卒業

日経BP社入社『日経アーキテクチュア』編集部勤務(~1999年)

2001年~ 桑沢デザイン研究所非常勤講師

2002年 フリックスタジオ共同主宰(~2020年) 2008年~ 武蔵野美術大学造形学部芸術文化学科非常勤講師

2020年~ Office Bunga共同主宰

Gallery 掲載要項

Galleryとは…

公益社団法人大阪府建築士会は、会誌『建築人』を会員サービスの一環として毎月発行しています。発行部数は約3,000部で会員のほか、官公庁、大学、図書館、出版社、報道機関等に頒布しています。この『建築人』では、毎号「Gallery」というコーナーを設けており、皆様の建築作品を掲載しております。皆様の作品を本誌へ掲載しませんか?

掲載作品は、同時に『建築人賞』候補に! 『建築人賞』とは

Gallery掲載作品は自動的に大阪府建築士会が毎年表彰している『建築人賞』の候補となります。(毎年1月号~12月号掲載作品)

『建築人賞』は、これまで15回を数える賞で、個人の審査委員長により選考します。 2023年も昨年に引き続き、建築ジャーナリストの磯 達雄さんにお願いしています。

賞には、「建築人賞」「建築人新人賞」「建築人奨励賞」「建築人賞佳作」があり、建築主、設計者、施工者に賞状が贈られます。さらに「建築人賞」「建築人新人賞」の設計者の方には、記念品が授与されます。表彰は、5月(予定)に行われる建築士会の年次総会で表彰式を挙行しており、受賞される建築主、設計者、施工者の方に参加していただいております。





記念盾 グラスアーティスト 佐久間 靖 作 (左:建築人賞 右:建築人新人賞)



佐久間 靖

1971 年 大阪府高槻市生まれ

1996 年 神戸学院大学 法学部 卒業

1997 年 株式会社 ロクレールプロダクショングラスアーティスト 三浦啓子氏に師事

2016 年 株式会社 Jiku Art Creation 作品制作に従事

■ 掲載費用

100,000円(1頁カラー)

*①:初回割引 80,000円

(設計者および施工者が過去10年間、Galleryに掲載されていない場合)

*②: 若手初回割引 50,000円

(40歳以下で建築設計事務所を主宰されている方で*①を満たす方)

■掲載概要

建築主、設計者、施工者、協力会社、 所在地、用途、竣工年、構造規模、 敷地面積、建築面積、延べ床面積

■ 掲載記事内容

写真4点程度

説明文章:約300字程度

動静レポート

会長動静

3/22 ~ 24 釜山広域市建築士会定期総会 (詳細は本誌 12p に掲載しております)



3/29 大阪府収用委員会

近畿建築士会会長会議、協議会

3/31 建築人表彰意見交換会

4/3 歴史的建造物委員会

4/4 修成建設専門学校入学式

4/5 在版 4 団体会長·支部長会議

4/6 部門長面談

4/10 関西建設人ゴルフ大会

4/12 大阪府収用委員会

日本建築士会連合会会議

4/14 正副会長会議、運営会議

4/17 大阪府住宅センター理事長面談

4/19 理事会、大阪弁護士会役員披露会

4/20 大阪府収用委員会審理

4/25 大阪府収用委員会

4月度 理事会報告

日時 4月19日(水) 16:00~18:00

場所 大阪府建築士会会議室

出席 理事 38/48 名 監事 2/2 名

名誉会長他6名 役員候補者11名

(1) 入退会の承認

(人)	3月	入会	退会等
正会員	2,243	7	117
準 会 員	31	0	1
特準会員	23	0	2
賛助会員	138	2	4
計	2,435	9	124

(2) 令和 4 年度収支決算について

令和4年度の正味財産期末残高は47,476,865円となり、前年度から $\triangle6,277,990$ 円を報告し承認されました。

4年度の経常収益は、建築士試験申込受付の Web 化、合格者数減及び実務経歴に係る建築士登録者の減数、定期講習のリピー

ター数減並びに他の法定講習や委員会企画を含めたWeb化による対面参加者の減数、特定空家撤去工事の包括的業務委託や耐震評価業務の低調などが主な要因です。経常費用では、会報誌充実のための全頁カラー化及び増頁による支出増も影響しました。事務局職員数を縮小する方針により段階的に固定費は減額しますが、4年度も職員の定年退職等での減員がなければ約一千万円超えの赤字決算と見込まれ、試験・登録・法定講習等の更なる減収を見越して、本年度中に具体的な諸活動の収益増を図る方策が急務としました。

公益法人の運営条件である①経常費用の合計額140,420,959円に対して、公益目的事業額119,562,028円が1/2以上を占めること、②当期経常増減額の公1・公2・公3並びに公益目的事業会計が全てマイナスであること、③収益事業額の818,538円の50%を公益目的事業に振替えても当期増減額がマイナスになっていることの3点すべてを満たしていることを報告しました。

(3) 定時総会の準備

役員に令和4年度事業報告の内容の確認を 依頼し、総会運営スケジュールの時間微調 整を承知しました。

(4) 第 15 回建築人賞 入賞作品

応募数 39 点から第一次 15 点を選出し、第二次(現地審査)で、建築人賞、新人賞、 奨励賞、佳作の計 10 点の作品が入賞しました。総会式典で表彰します。

(5) 建築士会全国大会「大阪大会」 2025 年大阪・関西万博と同年に大阪大会 を誘致し、日程は9月18日(前日会議)~ 19日(大会日)、会場は大阪国際会議場で

実施することを確認し、日本建築士会連合 会へ報告しました。

大阪市重度障がい者 (児)住宅改修費給 付事業における審査業務の受託

令和5年度の大阪市福祉局の重度障がい者(児)住宅改修費給付事業における審査業務を本会が受託いたしました。

審査業務は、重度障がい者(児)が在宅する住宅設備の改修工事にかかる費用を給付する事業について、住宅改修の内容と工事価格の適正性のために建築士が書類審査及

び訪問調査を行うもので、本会の女性委員 会等による審査体制で実施します。

令和 5 年度定時総会行事 重松象平氏の記念講演会の開催

5月17日の総会記 念講演は重松象平氏 (写真) です。 氏は1072年4月

氏は 1973 年生れ。 建築家、OMA パー トナー・OMA ニュー



ョーク事務所代表、九州大学大学院人間環境学研究院教授、BeCATセンター長としてご活躍中です。

講演は「建築を越えて」をテーマにして、 社会的な力を失いつつあると思われていた 建築に新鮮な息吹を感じさせる作品は、ダイナミックに都市へと働きかけ、埋もれていた 地域アイデンティティを掘り起こし、場の力 を高める建築が都市と融合して新たな空間 を生み出し、「建築」「建築家」といった既 成概念を越えた環境芸術と職能の未来を感 じさせてくれます。

2025 年大阪・関西万博と新しい都市開発の 数々を目前にした大阪にきっと力強い示唆を 与えてくれるに違いありません。

なお、定時総会のご案内は、5月号の建築 人に同封しております。

文化庁の文化芸術振興費補助金(地域文 化財総合活用推進事業)の採択

文化庁に申請しておりました本年度のヘリテージ補助事業は、3月31日に補助額7,428千円で採択されました。

採択事業内容は、人材育成事業として、今年度で10回目となる大阪府へリテージマネージャー育成講座開催、文化財を活用したイベント開催に加え、新たに地域文化遺産のガイド人材育成講座開催、普及啓発事業として、大阪講談の楽しみ方に加え、新たにまち歩きとシンポジウム開催を予定しています。

今後、ヘリテージ委員会を中心に、大阪府 ヘリテージマネージャー協議会とともに、協 力し合って事業実施の具体的な企画立案を 進めます。

Topics

資生堂大阪茨木工場/西日本物流センター 見学会+説明会

日時:令和5年3月14日(火)

会場: 資生堂大阪茨木工場/西日本物流センター

参加者:20名

資生堂大阪茨木工場/西日本物流センターは、大阪彩都地区に位置する高価格帯スキンケア製品の生産と物流を担う新しいサプライチェーンの拠点として、72,000㎡の敷地に短辺100m、長辺300mの大規模工場・物流施設として建設されました。

今回の見学会は、工場用途という極秘空間のため通常は見学会を開催することが困難であるという希少性、また、コロナ禍で定員が20名限定となったことから、大阪府建築士会ホームページに見学会のお知らせ掲載後、すぐに定員が満員となりました。

まず初めに、建築計画、構造計画について それぞれの設計担当者の方々から詳しい説 明を受け、その後、設計者の誘導に従い、見 学可能なゾーンを最大限ご案内いただきま した。

エントランスに構える見学者施設「Shiseido

Beauty Site」では、来訪者に「美の旅」を体験いただくというコンセプトをもとに、施設内を回遊できるダイナミックな吹き抜け空間が実現されていました。白を基調とした気品のある空間は、資生堂という高級といる場合である空間は、資生堂という高級といるというというというというでき、企業と設計者の造り込みに対する情熱が感じられるものでした。また、工場見学通路の窓からは、化粧品の製造過程、物流棟に自動的に運ばれていく様子を見学することができ、企業とお客様の距離を近づける仕掛けとして、魅力的なルートが構成されていました。

また、従業員のメインの福利厚生を担う食 堂棟(通常は非公開)は、効率化された整形 の工場・物流施設と対比するように、円形 で角がなく、緑を感じられる空間となってお り、RC壁で地震荷重に抵抗し、鉄骨で大ス





パン化を図る構造架構で吹抜と大開口を 有するダイナミックな計画が実現されてい ました。

見学会後の質疑応答では、見学できなかった生産施設の大規模、かつ複雑な構造計画についても担当設計者から補足説明がなされ、大変充実したものとなりました。

こちらの施設は、一般のお客様対象にも見 学会(要予約)を開催されていますので、今 回、残念ながら見学に参加できなかった方 や、ご興味のある方は、是非、そちらで。



建築相談室から(72) 2022年度の建築相談室

毎年5月は前年度の建築相談室の活動についてまとめています。ここではダイジェストでお伝えします。6月頃から本報告の詳細な内容は本会・建築相談室のホームページでご覧いただけるように準備をしています。全体の相談件数

2022年度 (2022年4月1日から翌3月31日まで) の電話の建築相談総数は528件 (一日平均2.2件) でした。コロナ前の17年度は648件 (同2.7件)、台風や地震が起こった18年度は1219件 (同5.2件)、19年度が766件 (同3.3件)、コロナになって20年度568件 (同3.2件)、21年度391件 (同2.6件)と推移しており、昨年度よりは増加しているものの、年間・一日平均相談件数ともにコロナ以前の数字には戻っていないことがわかります。20・21年度は、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置なども発令され相談受付日数が例年の2/3程度に激減

しましたが、一日の相談件数は変わっていません。ところが22年度は例年通りの相談日数で年間相談件数が減少したため、一日相談件数が減りました。

1日相談件数の減少

22年度は一日平均相談件数が過去5年で最も低くなっていましたが、当然1日の相談件数にも特徴が表れています。相談件数が1件もない日が相談実施日239日のうち17日もあり、21年度の10日、20年度の8日に比べても極端に多いです。また、相談件数1件の日も64日(相談実施日の26.8%)、21年度の34日(同22.2%)、20年度の19日(同10.9%)から大幅に増えていることがわかります。つまり、22年度は相談実施日の実に1/3程度が相談なしか1件の相談日だったとのことがわかります。

面接相談・現地相談件数の変化

面接相談はコロナ禍の20・21年度よりは増

橋本頼幸(建築相談委員会幹事)

加しており、平年程度に戻しております。一方、現地相談は21年度と同じ20件でコロナ前の半数程度になっています。申し込みは28件あり、依頼者都合で8件キャンセルされています。

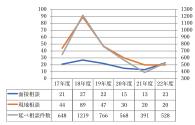


図1 過去6年の相談件数推移



Information

建築士会からのお知らせ

本会主催の講習会等では座席の離隔距離 確保等の新型コロナ感染防止対策を行いま す。受講者におかれましてもマスク着用、手 指のアルコール消毒等のご協力をお願いし

感染状況によっては延期、中止となる場合が ありますので、最新情報は本会HPでご確認 ください。本会以外の事業は主催者にお問 い合わせください。

既存建築物耐震診断等の評価

本会では、「建築物の耐震改修の促進に関 する法律」の改正に伴い、建築構造の学識 者や実務者で構成する「建築物耐震評価委 員会」を組織し、平成26年1月より建築物耐 震評価業務を実施しております。

不特定多数が利用する施設や沿道建築物 など、申込者が検討した建築物の耐震診断 及び耐震補強計画について、専門的観点の もとに審査・審議を行い、妥当であると認め る申込案件に対して評価書を交付します。 スピーディな審査を心掛けておりますのでど うぞご活用ください。

(業務内容)

耐震診断報告書の審査、評価 耐震補強計画案の審査、評価 等

(対象建築物)

公共・民間等の建築種別、用途、規模、構 造種別は問いません。また、他府県の建 築物も対象としております。

(会員特典)

申込者又は診断等実施者が本会会員の場 合は、評価手数料の10%割引があります。

令和5年度監理技術者講習 (監理技術者以外の方も受講可能) 5/26、7/5、9/7 CPD各6単位

本講習会は建設業法に基づく法定講習であ り、建築に特化したテキストを使用し、経験 豊富なベテラン技術者の講師による解説と 映像で、実務に役立つ情報を提供いたしま す。なお、監理技術者以外の建築十や技術者 の方も受講が可能です。日頃の工事監理業 務に役立ちますので、ぜひご受講ください。 日程 5/26(金)、7/5(水)、9/7(木)

時間 8:55~17:00

会場 大阪府建築十会 東会議室 各回30名(定員に達し次第締切) 定員 受講料 WFR申込み9500円

郵送申込み10.000円

日本建築士会連合会ホームページよ りお申込みください。

http://www.kenchikushikai.or.jp/toriku mi/news/2015-07-28-2.html

令和5年度建築士定期講習

5/30、6/20、7/27、8/25、9/27、10/19、 11/30、12/22、1/30、2/6、3/29 CPD各6単位

建築士法の規定により、建築士事務所に所 属するすべての建築士は3年以内ごとに定 期講習を受講しなければなりません。本年 度は令和2年度に本講習を受講された方や、 建築士試験に合格された方が対象となりま す。未受講者は懲戒処分の対象となります ので必ず年度内に受講してください。

▼対面講義

日程·会場·定員

5/30(火) 大阪国際会議場 300名 ※6/20(火) 大阪YMCA会館 200名 7/27 (木) 大阪YMCA会館 200名 ※8/25(金) 大阪府建築健保会館 90名 9/27 (水) 大阪府建築健保会館 90名 ※10/19(木) 大阪府建築健保会館 90名 ※2/6(火) 大阪YMCA会館 200名

▼DVD講義

日程·会場·定員

11/30(木) 大阪府建築健保会館 90名 ※12/22(金) 大阪府建築健保会館 90名 1/30(火) 大阪府建築健保会館 90名 3/29(金) 大阪府建築健保会館 90名 時間 9:15~17:00 (各講習日共)

受講料 12,980円(消費税含。事前振込) 申込方法

申込用紙を建築技術教育普及センター HPからダウンロードしてください。(令和 2年度受講者には、同センターから直接申 込書を郵送しています。)

ご記入後、大阪府建築十会事務局又は大 阪府建築士事務所協会事務局へ持参して いただくか、簡易書留にて郵送してください。 受付場所(送付場所)

※印の日程 大阪府建築士会事務局 ※印以外の日程 大阪府建築士事務所協 会事務局

建築技術教育普及センターHPからWEB申 込みも可能です。

https://jaeictkosyu.jp/jaeicteikikosyu/ 注) 各回定員に達し次第、受付を終了します。

BIM連続セミナー A&A Vectorworks編

6/9 CPD4単位(予定)

BIM連続セミナーは、BIMツールのひとつ である「Vectorworks Architect (ベクター ワークスアーキテクト)」を実際に操作しなが らBIM設計を体感いただきます。二次元設 計を主としている方、3D設計やBIMに興味 をお持ちの方、実際にトライしてみたい方、 BIM設計を再チャレジされたい方、もちろん Vectorworksをお使いでない方もお気軽に ご参加いただけます。

日時 6/9(金) 10:30~17:00 会場 大阪府建築士会東会議室 定員 30名(申込先着順) 参加費 建築士会会員1,000円

会員外1,500円

ミライREBORNスマイ プロジェクト -医・食・住でミライの健康な都市 生活-

主催 公益社団法人全日本不動産協会 共催 公益社団法人大阪府建築士会

●募集目的

本プロジェクトでは、入賞作品の中から 3DCG映像等の作品を共創(翻案・制作) し、2025年大阪・関西万博「大阪ヘルスケ アパビリオン での展示・公開を予定して

●募集部門·応募資格

①学生・一般の部

応募資格はとくになし。大学、大学院修 士・博士課程、短期大学、専修学校、高等 専門学校・その他の就学者を含む。

②建築家・デザイナーの部

建築・都市デザイナー、グラフィックデザ イナー、ビジュアルアーティストなど幅広 いジャンルに属するプロフェッショナルの クリエイター。

●審查委員

樋口真嗣(審査委員長。映画監督・特技監督) 赤井孝美(ゲームクリエーター、アニメプロデューサー) 秋吉浩気(建築家・メタアーキテクト) 内田友紀(都市デザイナー) 齋藤精一(クリエイティブディレクター)

重松象平(建築家) 中川エリカ (建築家)

近藤良一(大阪の住まい活性化フォーラム会長) 豊田崇克 (一般社団法人ソフトウェア協会副会長)

●賞・副賞 最優秀賞

200万円・賞状、トロフィー(1点×2部門=計2点)

50万円・賞状 (2点×2部門=計4点)

30万円·賞状 (4点×2部門=計8点) 特別賞

50万円・賞状(部門を問わず全体で2~3点程度)

- ●募集要項公表 1/12(木)
- ●応募登録期間 1/12(木)~7/31(月)
- ●応募受付期間 6/12(月)~8/10(木)
- ●問い合わせ

公益社団法人大阪府建築十会 メール:mirai.reborn.sumai@aba-osakafu. or.jp

「庭じまい」という言葉をご存じで すか?

5/12 CPD2単位(予定)

設計者としてさまざまなアイデアを駆使して 提案した庭の経年変化後の維持管理に施主 が負担を感じていないだろうかと考えたこと はありませんか? 「庭じまい」って…何?と思 われた方は是非ご参加ください!

日時 5/12(金) 18:30~20:00 会場 大阪府建築士会 東会議室 講師 有限会社造景空間研究所

藤山 宏

定員 限定30名(申込先着順) 参加費 会員1,000円 会員外1,500円 2020年以降入会新入会員 無料 令和3·4年合格者会員 無料 令和3·4年合格者会員外1,500円 学生 無料

設計者・施工者のための デジタル技術の新たな潮流 5/19 CPD3単位(予定)

生産性向上を目指した様々な建設DXが進ん でいます。建物の調査~調査データのデジタ ル化~デジタル画像による3Dモデル~3Dプ リンターによる型枠や建屋の建設まで、設計 者~施工者の役に立つデジタル技術の新た な潮流の現状と今後の情報をご紹介します。 日時 5/19(金) 13:30~16:45 会場 大阪府建築士会 東会議室 定員 60名(申込先着順)

受講料 建築士会会員2,500円 後援団体会員3,000円 一般4,500円

第1回防災訓練(IN舞洲バーベ キューパーク)

5/20 CPD2単位(予定)

軽微な地震が頻発する中、いよいよ南海ト ラフ地震も現実味を帯びてきました。そこで 地域まちづくり委員会防災分科会では、第1 回防災訓練を開催いたします。基本に立ち 返って、火おこし体験やロープワーク実習、 ビニール袋炊飯や飲み水の確保、加えて排 泄物の処理などの体験を通じて、たとえ数 日間であっても家族や近隣住民と助け合え るキーとなる手法を学んでいただきます。公 的支援や避難所開設の折にも役に立つ技術 や知識の習得を目指しています。また、その 後は給食給水訓練として懇親を深めます。

日時 5/20(土) 12:00~16:00 会場 舞洲バーベキューパーク 定員 20名(申込先着順) 参加費 会員4,000円 一般5,000円

建築士の会 いずみ野 建築家住宅の継承と活用〜大阪 府岬町の事例~

5/27 CPD3単位(予定)

岬町に建つ住宅建築・不知火館(設計:狩 野忠正) は令和の時代にcafé kiitösとして 再生しました。狩野忠正先生の御子息で建 築家でもある狩野新氏を講師に迎えて、建 築家住宅の継承についてお話を伺います。 その後の談話会ではcafé kiitös店主の川口 氏、新築工事時の設計監理を担当された北 澤氏を交えて建築家住宅の継承と活用を テーマに議論を重ねたいと思います。第2部 では岬町深日周辺の史跡を巡るまちあるき を実施します。皆さま奮ってご参加ください。 日時 5/27(土)

当日スケジュール

【大阪府建築士会】大阪市中央区谷町3-1-17 高田屋大手前ビル5階

http://www.aba-osakafu.or.jp/ メール info@aba-osakafu.or.jp TEL.06-6947-1961 FAX.06-6943-7103

13:00 受付

13:30 開会挨拶 主旨説明

13:35 レクチャー(45分)

□狩野忠正建築の継承

講師 狩野 新氏(狩野新アトリエ代表) 14:25 談話会+質疑応答(45分)

□不知火館からcafé kiitösへ

話者 川口敬之氏(café kiitös店主) 北澤嘉浩氏(帝塚山大学教授) 狩野 新氏(狩野新アトリエ代表)

15:10~15:40 館内見学タイム(30分) 15:50 岬町まちあるきスタート(約90分) 深日周辺の史跡

17:20 閉会挨拶 解散

会場 café kiitös

定員 40名(申し込み先着順)

参加費 会員・一般1,500円(ドリンク付) 学生1,000円(学生証提示による)

建築士の会「大阪市東」新入会員歓迎企画! 大阪城公園で平和について考えよう 〜戦いの記憶に触れるウォーキング〜 6/3 CPD2単位(予定)

新入会員の皆様を歓迎いたします!大阪城内に残る昭和初期の旧陸軍の建物や砲兵工廠の遺跡などを見て廻り、戦争の爪痕とともに大阪の歴史を感じようという企画です。また、現在修復工事中の大阪城の「石垣」については、設計・監理を担当する設計事務所の所員の方による、説明があります。

終着は、設計事務所「シーラカンス アンドアソシエイツ」が建築コンペを勝ち抜いて完成させた大阪国際平和センター「ピースおおさか」。幾何学的で複雑な形の屋根が特徴で、今回は外観のみを見学します。

大阪観光ボランティアガイドによる説明と共に新緑の大阪城界隈をウォーキングし、平和について考えましょう!

日時 6/3(土) 14:00~16:00

集合 大阪城公園京橋口 13:45~受付 定員 20名(申込先着順)

参加費 会員500円 会員外1,000円 新入会員無料(R4年4月~R5年3 月入会者)

申込締切 5/26(金)

第15回建築人賞 入賞作品

応募数39点から第一次15点を選出し、第 二次(現地審査)で、建築人賞、新人賞、奨 励賞、佳作の計10点の作品が入賞しまし た。5月17日の総会式典で表彰いたします。また、詳細は建築人7月号にてお知らせいたします。

たします。			
築人	—	作品名 ユニソン大阪事業所	
		設計者 竹原義二/無有建築工房	
	/32	施工者 ㈱伊藤嘉材木店	
	住宅	作品名 NUDE HOUSE prototype	
		設計者 松下建築設計一級建築士事務所	
		施工者 (株)尾上工務店	
新人賞	一般	作品名 大阪国際中学校高等学校	
		設計者 ㈱安井建築設計事務所	
		施工者(株)竹中工務店	
	住宅	作品名 並びの住宅	
		設計者 design SU 建築設計事務所	
		施工者 (株)コムウト	
		作品名 介護老人保健施設はくほう	
奨励賞	一般	設計者 (合同) 森康郎建築設計事務所	
		施工者 ㈱ 柄谷工務店	
		作品名 なでしこ芸術文化センター	
		設計者 (株)久米設計	
員		施工者 鹿島建設㈱	
	住宅	作品名 淡路島さくらの家	
		設計者 井上久実設計室	
		施工者(㈱淡路工舎	
佳作		作品名 Canadian Academy	
	一般	設計者 ㈱竹中工務店	
		施工者(株)竹中工務店	
		作品名 愛光みのり保育園	
		設計者 ㈱深江康之建築設計事務所	
		施工者(株)藤木工務店	
	住宅	作品名 MASSIVE	
		設計者 マニエラ建築設計事務所	

行政からのお知らせ

「第36回大阪市ハウジングデザイン賞」の推薦を募集します!

施工者(株)マイスターズ・ユニオン

大阪市では、魅力ある良質な都市型集合住宅の供給を促進するとともに、市民の方々や住宅供給に携わる人々に住宅に対する関心を高めていただくことを目的として、昭和62年度から「大阪市ハウジングデザイン賞」を創設し、優れた集合住宅を表彰しております。今年度は下記の通り推薦募集を行いますので、大阪市内のすてきな集合住宅をご推薦ください。

- ●応募締切 6/20(火)当日消印有効
- ●対象

大阪市内で建設された「共同住宅」「長屋」

「戸建住宅の集合」で、次に該当するもの 1 新第

おおむね過去5年以内(平成30年4月1日 以降)に完成したもの

2.既存建物の改造等

おおむね過去5年以内(平成30年4月1日 以降)に優れたリフォームやリノベーション等をしたもの

3.維持管理

築20年以上で、良好な維持管理がなされているもの(平成15年3月31日までに完成) (注)大阪市、大阪市住まい公社及び独立 行政法人都市再生機構等の公的団体 が上記1~3それぞれで事業者等であ る住宅については、対象外となります。

- ●応募方法 インターネットまたはハガキ
- ●詳細・応募先

大阪市都市整備局企画部住宅政策課民 間住宅助成グループ

https://www.city.osaka.lg.jp/toshiseibi/page/0000590707.html

その他のお知らせ

大阪府登録文化財所有者の会主催富田林市教育委員会後援

『第3回 酒蔵映画祭』(弁士付き無 声映画)

5/20

大阪府富田林市の国登録有形文化財岩根 家住宅酒蔵にて第3回酒蔵映画祭が開催さ れます。

坂東妻三郎主演『雄呂血(おろち)』

弁士 遊花氏 謡 小嶋勉氏

講師 濱口十四郎氏

酒蔵をはじめとする文化財建造物の見学、 濱口氏による映画の歴史の話、豊かな空間 の酒蔵で情感あふれる遊花氏の語りによる 無声映画鑑賞やスペシャルなシークレット 企画も予定しています!

日時 5/20(土) 13:30~

会場 岩根家住宅 酒蔵

富田林市五軒家2-7-1

南海高野線大阪狭山市駅より徒歩15分 参加費 2,500円

回路绕回

定員 40名(申込先着順)

申込 カルテット・オンライン https://www.quartet-online. net/ticket/otoubun20230520

問合せ 大阪府登録文化財所有者の会 事務局 info@osaka-tobunkai.org

詳細は『大阪文化財ナビ』に掲載 https://osaka-bunkazainavi.org/ 2023年度建築学会大会(近畿) 関連行事 第12回建築紛争フォーラム 「近畿地域における建築紛争の現 状と課題」

9/14

司法支援建築会議では、2009年度から日本建築学会大会の関連行事として「建築紛争フォーラム」を開催してまいりました。このフォーラムの趣旨は、建築紛争を巡る課題について司法支援建築会議会員、裁判官、弁護士等で意見交換を行うとともに、学会大会の関連行事として開催することにより全国の会議会員との交流の場を設けることにあります。2023年度の建築紛争フォーラムでは、まず大阪地方裁判所の裁判官に基調講演をいただき、引き続き調停委員や専門委員として活躍中の会議会員および裁判所の判事による最近の事例報告の後、会場からご質疑をいただきながら、建築紛争解決や建築事件の未然防止につなげたいと思います。

会議会員の交流のみでなく、広く一般市民に も建築紛争被害を避けるための情報提供の 場であることから、ふるってのご参加をお願 いいたします。

日時 9/14(木) 13:30~16:55

会場 京都教育文化センター ホール (京都市左京区聖護院川原町4-13)

対象 建築の専門家 定員 180名 参加費 無料

主催 日本建築学会司法支援建築会議 詳細·申込

日本建築学会HP「催し物・公募」欄に掲載予定

https://www.aij.or.jp/event/list.html

大阪府登録文化財所有者の会『御財印めぐり』

「御財印めぐり」とは、各地で大切に継承されてきた文化財等のデザインを表象した「御財印」(御朱印の建物版)を集めながら、その地域の文化・歴史や建物を知り、地域の人たちとのふれあいを楽しむ旅です。令和2年よりスタートし、令和5年4月には65か所に御財印が設置されています。「御財印」や「御財印帳」の頒布による収益は、文化財継承のために活用されます。是非、御財印めぐりを楽しんで下さい。

問合せ 大阪府登録文化財所有者の会

事務局 info@osaka-tobunkai.org 詳細は『大阪文化財ナビ』に掲載 https://osaka-bunkazainavi.org/

街に、ルネッサンス -



UR都市機構

西日本支社

〒536-8550 大阪市城東区森之宮 1-6-85

News of Note

「釜山訪問―37年つづく釜山広域市建築士会とのつながり―」



国際委員会 担当理事 河野 学

はじめに

大阪府建築士会は、1986年に釜山広域市建築士会と交流協定を結んでいます。この度、釜山広域市建築士会定時総会に出席・交流するため、2023年3月22日から24日の3日間、釜山に訪問いたしました。訪問メンバーは、岡本森廣会長、濱田徹副会長、森田茂夫特任相談役、そして私の4人です。2020年から始まった新型コロナウイルス感染拡大に伴い、長らく直接の交流が途絶えていたところもあり、再び釜山に訪れることができたこと大変喜ばしく感じています。今回、News of Noteの場をお借りして、皆様に釜山訪問の報告をいたします。

3月22日(水)

金海空港から海東龍宮寺の見学

関西国際空港から出国し1時間半後、釜山の金海(キメ)空港に到着し、釜山広域市建築士会国際委員会の皆様から横断幕の歓迎をいただきました。その後、専用車で移動し、海東龍宮寺(ヘドンヨングンサ)の見学をいたしました。このお寺は、海雲台(ヘウンデ)から、車で東へ約30分の距離にあり、願い事を一つだけ叶えてくれるという海に面した珍しいお寺です。本殿まで108段ある階段を下り、煩悩を取り去って拝殿いたしました。



海東龍宮寺全景

3月23日(木)

釜山広域市建築士会定時総会の出席

定時総会は釜山広域市庁舎内で行われました。関係者控室では、釜山広域市の区長や歴代の会長などかお見えになられ、岡本会長をはじめ我々大阪府建築士会メンバーも挨拶を交わしました。総会では、岡本会長がご登壇され、ご祝辞やきたる2025年大阪万博に招待するなど、大阪府建築士会と釜山

広域市建築士会の益々の交流発展を願う お話をしていただきました。





釜山広域市庁舎と関係者控室の様子



岡本会長のご登壇

冬柏島周辺ヌリマルAPEC ハウスの見学

冬柏島 (トンベクソム) は海雲台海水浴場南の端にある陸繋島で、市民と観光客らの散歩道として知られています。 桜と椿の綺麗な散歩道をしばらく歩き、ヌリマルAPEC ハウスに立ち寄りました。この施設は、2005年に開催された第13回 APEC (アジア太平洋経済協力) 首脳会談の会場となったところです。



ヌリマルAPEC ハウス外観

3月24日(金)

南浦洞周辺の見学

南浦洞(ナンポドン)は、釜山を代表する観光地ですが、旧日本軍や日本人が関わった 建物がいくつか残されています。

立石良雄住宅(昭和初期):立石良雄は明 治44年 釜山に渡り、立石商会(釜山の自動 車、燃料精製工業等)の創設者として財を成 した日本人です。この住宅は現在、資料室や 学習教室として活用されています。





立石良雄住宅の蔵と資料室内観

釜山近代歴史館(昭和初期、1920年台): 東洋拓殖株式会社釜山支店として建てられた建物は、戦後、米軍の宿舎やアメリカ文化院の建物として使われました。1999年に韓国に返還され、現在は、大きくリノベーションし、図書コーナーやフリーの学習スペースのコーナー等が設置されています。





リノベーションの解説図と吹き抜け空間

さいごに

他に、甘川文化村(カムチョン・ムファ・マウル)やセンタムシテイの見学、また、夜は歓迎会、交歓会、沢山のお土産を頂くなど、多大な歓待を受けました。これらは、岡本会長、濱田副会長、森田特任相談役をはじめ、大阪府建築士会の皆様が、長年友好な関係を築き、大切にしてきたからこそだと思いました。また、今後も、この関係を維持していかなければならないと強く感じ、微力ながら私も釜山広域市建築士会の皆様と友好な関係を築くべく、国際委員として務めていけるよう努力していきたいと思います。

Close-up Osaka

成長し続ける 我がまち 東大阪



東大阪市 建築部 建築指導室 建築審査課 課長 鈴木 崇

○本市のなりたち・特徴~

本市は、生駒山と旧大和川がつくりだした 豊かな自然や地形のもと農村として栄え、近 代になり鉄道の開通とともに沿線に住宅地 が形成され、駅を中心に商業地が発達しま した。また、道路の整備にともなって農地を 工場地や流通業務地、住宅地に転換させる なかで、モノづくりのまちとしてだけでなく、 古くからの歴史と文化をもつ便利で暮らし やすいまちとして発展してきました。

~交通利便性が高いまち~

本市は河内平野のほぼ中央部に位置し、西は大阪市、南は八尾市、北は大東市、東は 生駒山地で奈良県と接しています。

東西方向を中心に鉄道が発達し、鉄道路線は6路線、駅は23カ所に全26駅あります。本市を縦断しているJRおおさか東線が、2019年3月16日に新大阪駅まで延伸され、さらに、2023年3月18日には大阪駅まで延伸されたことにより、2024年夏頃に第2期のまちびらきが予定されている「うめきたエリア」と直結しました。

また、2029年の開業を目標としている大阪 モノレールの南伸事業により、新たに4路線 と結節することで鉄道ネットワークの機能 強化が図られます。今回、門真市駅から南 への延伸で、本市内には新たに3箇所で駅 が建設される予定となっており、南北方向の 移動についても、さらに利便性が高まってい きます。

車でのアクセスもよく、阪神高速道路や近畿 自動車道の出入口も多数あり、大阪市内中 心部や、京都、神戸、奈良などの近畿主要都 市への移動も便利です。

○東大阪市文化創造館

近年の本市の代表的な公共施設として、 2019年9月1日に近鉄奈良線八戸ノ里駅北 側にオープンした、東大阪市文化創造館が あります。整備運営においては、民間資金等 の活用による公共施設等の整備等の促進 に関する法律(PFI法)により、民間事業者 の経営能力や技術的能力を活用し、効率的 かつ効果的に質の高い公共サービスを図る とともに、コストの削減も図られています。 また、中庭やトップライトによる自然光の取 り入れや、屋上緑化、太陽光発電の設置な どにより、CASBEEの最高ランクであるS評 価を得ており、地球温暖化やヒートアイラン ド現象防止などの環境への配慮に優れた建 築物に対して表彰される「大阪環境にやさし い建築賞」の「大阪府知事賞」を令和2年度 に受賞しました。



文化創造館

大ホールは、客席1,500席あり、優れた音響空間と上質な鑑賞環境を備え、コンサートやミュージカル、式典、コンクールなど、様々なイベント等に利用されています。



文化創造館 大ホール

○建築物の省エネルギー施策

本市は2020年に「2050年ゼロカーボンシティ」を表明しました。今後も公共施設の整備においては、環境負荷の軽減を図っていきます。その中で、令和6年度に改修予定の動物指導センターについては、エネルギー消費量を50%以上削減する「ZEBReady」で設計し、行政として主導的に建築物の省エネ・省CO2化に取り組んでいきます。

また、建築物省エネ法の改正によりまして、2025年4月からは、住宅、非住宅に関わらず、全ての新築建築物に省エネ基準適合が義務付けられます。これまで、時代に応じて、良質なストックの形成や、急増する空き家の活用・除却の推進などの各施策が講じられてきましたが、加えて今後は、脱炭素社会に向けた建築物の省エネルギー化が大きな課題となってきます。建築行政に携わる身として、知識を深めて、時代に乗り遅れないように努めたいと思います。

○成長し続ける 我がまち

私は東大阪市に生まれ・育ち・学び・就職し、これからも暮らしていきます。先に述べましたJRおおさか東線は、元は貨物列車の路線でしたが、今では大阪中心部や、他府県へアクセスできる重要な路線となっています。また、自宅から徒歩で行けた旧東大阪市立市民会館は、老朽化により解体され、文化創造館として素晴らしい施設に生まれ変わりました。未来の話と思っていた、大阪モノレールの南伸についても、もうそこまで迫ってきています。これからも様々な施策により、本市は成長していきますので、皆様もぜひ足を運んでいただき、東大阪市のまちなみに触れていただきたいと思います。

記憶の建築

国立劇場 一九六六年 生きられた建築の意味と価値を見つめて

てきた国立競技場の取り壊しは、そ後もスポーツの聖地として親しまれのメイン会場として建設され、その

二〇二一年の東京五輪開催を理由に、

九六四年の日本で最初の五輪開催

文・写真 = 松隈 洋 [神奈川大学建築学部教授]

ら、そこで培われた価値を守り育て、たなの日々の生活と文化を支えながしなの日々の生活と文化を支えなが入々の日々の生活と文化を支えなが入々の日々の生活と文化を支えなが入々の日々の生活と文化を支えながよりない。 そこで培われた価値を守り育て、

校倉造りをモチーフとする東側正面外観



İ

H

奈落と大道具制作室を見下ろす大劇場の舞台から

的な状況を見つめ直すことが求めら になるという。 存施設の改修という当初の計画は覆 う

唐突に

掲げられた

目標により、

既 場と演芸場は現在とほぼ同規模だが、 少ない新聞報道によれば、大小の劇 する手法の存在だ。内閣府が公表し 取組の柱」として政府が決定した「PPP 資本主義における『新たな官民連携』 あるのは、二〇二二年六月、「新しい 三年十月末に閉場する。その背景に 針が出されて、二○二二年秋から「さ こうした中で、歌舞伎や文楽など日本 れているではないだろうか。 を増す中で、改めて建築文化の危機 ろとなる場所への願いがより切実さ くコロナ禍の下で、人々のよりどこ のことを象徴する。また、現在大き レード」のホテルを併設する延五万 ロビーやカフェ、ショップ、 「にぎわいのある文化観光拠点」とい た「国立劇場再整備基本計画」や数 よなら公演」が続いており、二○二 の国立劇場も、突如全面建て替えの方 て一九六六年に竣工した東京半蔵門 の伝統芸能を保存、継承する場とし いるとしか思えない。三年以上も続 マ・パーク化に向かって突き進んで 都市の公共性をないがしろにし、テー 発計画も、この場所に託されてきた な議論を呼んでいる神宮外苑の再開 / PFI 推進アクションプラン」と題 最高高さ七四mの巨大な複合ビル 自由に出入りできるグランド 現在の建物の約二倍 「高いグ

> 復興から高度成長へと突き進む時代 周辺の環境に配慮して軒高を十四m ぜ校倉造りをモチーフにしたのか、 で覆う現代建築にもかかわらず、な 造をプレキャスト・コンクリート版 対談の中で、鉄骨鉄筋コンクリート が印象的だ。岩本は、浜口隆一との のような校倉造りの落ち着いた外観 竣工した国立劇場は、奈良の正倉院 能用の劇場の併設が土壇場で見送ら かし、敷地選定の混迷や当初盛り込ま の勢いから、大きな注目を集めた。し 建設された国立国会図書館(一九六一 刀、谷口吉郎、村野藤吾、吉田五十八 会長の内田祥三をはじめ、岸田日出 部の案によって建設された。審査員は、 等に選ばれた岩本博行(一九一三~九 により三〇七点の応募案の中から 国立劇場は、一九六三年の公開コンペ らは想像もできない姿へと変貌する。 に抑えつつ水平性を強調した現状か と問われて、次のように答えている。 れるなど、紆余曲折を経て建設される。 れたオペラ、バレエ、洋楽など現代芸 〜六八年)以来十年ぶりであり、戦後 ら重鎮が務めた。国立の施設としては 一年)を代表者とする竹中工務店設計 一九五三年の戦後初の公開コンペで

案』一九六六年十二月号)
案』一九六六年十二月号)
案』一九六六年十二月号)

国立劇場が誕生する。 新歌舞伎座(一九五八年)を見てそ こう答えた岩本は、村野藤吾の大阪 して、寡黙で控え目なたたずまいの を黒褐色で統一したのである。こう とも日本の伝統であるとして、 でひとつの固まり」になっているこ いる。また、「ひとつの材料で同じ色 ので、「エレベーションを置いて」、「横 が三階建ての低いものになってきた」 4角いプランになって、しかも高さ は、「プランや断面をやりましたら、 の確証を得たと明かし、国立劇場で に走る線が感覚的にでてきた」から、 一辺が一〇〇メートルぐらいになる - 校倉の横の線」が浮んだと説明して 外壁

問わずにはいられない。 のか。今はただ、戦後の文化の蓄積 図ることが、本当に求められている 施設をすべて取り壊し、民間活用を 果であり、これまでの参加者は延べ 筆者の知らなかった本格的な仕込み 者が代表を務めていたことから意見 劇場を運営する日本芸術文化振興会 九月、改修計画を検討していた国立 ここに掲載する写真は、二○一七年 を破壊する無謀な計画の見直しをと の歴史と愛着を持たれた国立の公共 八百万人にも上るという。これほど の裾野を広げる地道な鑑賞教室の成 から続けられてきた伝統芸能の観客 た。それは、竣工翌年の一九六七年 差しを注ぐ多くのファンの姿があっ で演じられる歌舞伎の世界に熱い眼 する機会も得たのだが、そこには、 を求められたのである。後日、観劇 ○○選に選定されており、当時、筆 する近代建築として DOCOMOMO 一 のものだ。二〇〇三年に日本を代表 から突然の依頼を受けて視察した際

大きさであり、

皇居に面する敷地



SANEI



内外を跨ぐトンネル状の空間を形成し、道路から中庭へと視線が抜ける。



事務所とショールームの機能が最大限の魅力と効果を発揮できるよう中庭を囲う分棟配置とした。